



株式会社ベルク 社外取締役

株式会社ベルク 代表取締役社長

株式会社コロラボ 代表取締役

**大西千晶**

大学在学中に起業し、人と地球の健康を考えた農場を運営。就農者を増やし、経済の発展だけでなく新しい価値を生み出すことを理念とし、農場と食を近付ける六次産業を推進。プライベートでは2児の母。

**原島一誠**

2005年にベルク入社、菓子部長、取締役管理本部長付部長、取締役営業本部長付部長などを経て、14年に専務取締役営業本部長に就任。15年から代表権を持つ。社内の人材育成とDXを推進し、チャレンジする組織へ変革。

**横田響子**

15年以上にわたり女性活躍、協業、新規事業、柔軟な働き方をキーワードに事業を展開。運営大学客員准教授、各行政機関等の審議会などを歴任。自身も東証プライム上場企業にて社外取締役として従事。

第2回のゲストは、埼玉県に本社を置く食品スーパーマーケットチェーン 株式会社ベルクの原島一誠社長と、2022年にベルク社外取締役に就任した大西千晶氏です。

ベルク社では2016年に1名だった女性社外取締役を2022年に4名に増員しました。これにより社内・社外取締役全14名のうち4名が女性となっています。その一翼を担うのがコロラボからご紹介した大西千晶氏です。

**女性が主役のスーパーだからこそ、女性社外取締役を増やしたかった**

横田：ベルクさんは2016年に最初の女性社外取締役を登用し、2022年には一気に女性社外取締役を4人に増員されました。その理由を教えてください。

原島社長：2016年にご縁があつて女子栄養大学の先生に社外取締役をお願いし、実際にスーパーマーケットに来店される女性の視点で意見をお聞かせいただきました。取締役会で活発な論議がかわされるきっかけになったと思います。しかし、弊社は食品スーパーでお客様も従業員も女性が多い業種でありながら、女性役員が少ないことが以前より気になっていました。3年前に私が代表取締役社長に就任した際、取締役の女性比率をもっと高めたいと考え、2022年に4人に増員しました。複



専門性を持ちつつ視野を広げ、アップデートしていきたい！

数にしたのは多種多様な意見が欲しかったから。役員全員の意見を1つに集約するのではなく、いろいろな意見の中から今の時点のベスト、またはベターを選ぶには複数の取締役が必要だと思ったのです。

横田：大西さんにベルクに来てほしいと思われた理由とその背景を教えてください。

原島社長：私自身が農業に興味があつたからです。弊社は障がい者就労農園を開園しておりますし、これからは売るだけでなく作ることも担うサプライチェーンが求められると思っています。その中で大西さんが農業に熱い思いを持たれているところが、32歳3か月と年齢が若くて多様な考えをお持ちのところ、ベンチャー企業経営者として活躍されているところに期待しました。

横田：大西さんは社外取締役のお声かけを、どうお感じになりましたか？

大西：自分が社外取締役に就任することは考えておらず驚きました。私たちは農業で「命」を作っているという自負はありますが、食品スーパーはそれをお客様に届ける重要な役割を担うと思っていましたので、原島社長にお会いしてみたいなと思いました。

横田：大西さんは京都を本拠地とされていますし、就任当時、おそらく東証プライム上場企業の社外取締役の中では最年少だったかと思いますが。原島社長はその点は気にありませんでしたか？

原島社長：弊社では、取締役会へリモートで参加できます。専門性のある優秀な人を確保するには変化に合わせる事が重要だと思っております。また、年齢の面で言えば大西さんのように若くて社外取締役として経験がないからこそ問題点に気づきやすいというメリットがありますし、世の中に柔軟に対応できるという点でも若さは決め手となりました。

横田：若いとはいえ学生時代に起業された10年超の経営者ですから年齢だけでは判断できませんね。ちなみに原島社長の考える女性経営者のよさとはなんですか？

原島社長：日本は男性の経営者が圧倒的に多いのですが、海外には多くの女性役員やトップの方がいます。そういう方たちは男性とまったく視点が違い、フードロス为例にしても男性の経営者だと社会問題の雑談になりませんが、女性は「これをいつやるか。」と具体的な話になるので楽しいです。

**生産現場を知る女性経営者の参画で変わった社内の意識**

横田：大西さんが社外取締役をやることになった当初の意気込みや、実際になられて



バラエティーに富んだ経営ボードで意見交換は活発です。

からのギャップを教えてください。

大西：就任が決まった時は自分自身が現場で感じた課題を通じてベルク社に貢献したいという意気込みがありました。就任後に店舗やリサイクルセンター、流通施設などを見学させていただく機会があり、現場を見ることで新たな気づきや認識のアプローチができました。就任前は自分のイメージで物事を見ていましたので、それが就任以前とのギャップです。

横田：社外取締役が多様化したことで取締役会以外にも社内に変化がありましたか？

原島社長：私はオーナー家の人間なので、そうでなければベンチャー企業をやってみないと思いがありません。それはかないませんが、青果部門の意識も変わりました。農業に力を入れていくことが明確になったからです。これからは従業員も実際に農業体験をする機会を設け、その大変さを実感してもらいたいと思っています。

もう一つは廃棄問題です。ある産地で捨てられているものがあつたので聞いたら、「昔、小売りさんに買って取ってもらえなかつたものは、収穫した時点で選別して捨てています」と言うのです。世の中が変わり、曲がったものや完熟すぎたものでもいいと言う



年齢ではなく豊富な経営経験の重要性を実感しました。

**企業価値を高めるために女性社外取締役にできること**

横田：今後、大西さんが社外取締役としてやってきたいことを教えてください。

大西：私自身も食の問題を含めて地球の未来に対する危機感があります。時代の変化に合わせて「食」の部分で地域と共存共栄することは、これからの経済社会の中で価値が高まってくると思います。私自身もそこに向けて企業価値を高める努力をしています。また、取締役会で活発に議論をするためには専門性が必要ですが、すべてに知見を持つことはできませんので、お客様目線で気づいたことを発言するための視点を広げていきたいです。

横田：最後に原島社長が社外取締役として大西さんに期待するところはありますか？

原島社長：2年目となる本年度は、1年以上に忌憚なく意見を言ってもらいたいですね。と同時に、生産者の立場で従業員に対するメッセージを発信してもらええる機会を設けたい。アイデアを行動につなげるには生産者さんとコミュニケーションを取ることが一番だと思うので、そういう機会をセッティングしていきたいと思っています。

横田：大西さんが女性の役職者のモデルとして貢献いただけたら、ご紹介させていただいた私もうれしいです。本日はありがとうございました。

**株式会社ベルク 企業概要**

- ・1959年 設立
- ・主力事業：関東地方を中心に展開する食品スーパーマーケットチェーン
- ・店舗数：国内 133店舗超
- ・従業員数：8,881名(社員2,244名)

※2023年2月末時点

1959年埼玉県秩父市に「主婦の店秩父店」としてスタート。以来、地元密着型のスーパーマーケットとして成長し、埼玉県・群馬県・千葉県・東京都・神奈川県・栃木県・茨城県の関東1都6県にチェーン展開する。食を通じた地域社会への貢献を目指し、社名でもある「Better life with community (地域社会の人々に、より充実した生活を)」を企業理念に掲げ、地域で最も愛されるお店を目指し、挑戦を続ける。

※掲載内容は 2023年6月現在

**株式会社コロラボ**

日本最大級の女性経営者ネットワーク「女性社長.net」を運営。女性社長のネットワークを生かしたビジネスプロデュース・人材コーディネートを展開。

【対談動画公開中】

今回の対談は動画でも公開しております。動画では、農業やフードロスについての考え方、取り組みについてもご覧いただけます。また、今後も女性社外取締役を導入した企業の代表と女性社外取締役の対談を継続して配信予定です。お楽しみに。

※対談へご協力いただける企業様募集。ご興味のある企業様はコロラボの社外取締役紹介サービスお問い合わせよりご連絡ください。